

# らく が け て じゅん 落書き消しの手順

## げん ち ちやう さ 現地調査

落書きの被害状況を調査し、消去する箇所を決めます。最初は無理のない範囲から始めるとよいでしょう。



## しょうきよ 消去についての りやうかい しゅ とく 了解の取得

落書きが書かれている建物等の所有者の方等に落書きを消去することについて了解していただく必要があります。活動の目的や内容について、よく説明することが大切です。

### 了解を得る際の主な注意点

- 具体的な消去の方法(上塗り塗料の色等)や日時なども説明しておきましょう。説明が不十分だとトラブルの元にもなりかねませんので注意が必要です。
- 建物等の賃借人の方等からの了解も必要な場合があります。また、駐車場周辺の壁の消去活動を行う場合は、駐車場利用者の方にも説明し、了解を得ておきましょう。
- 公共施設の落書きを消去する場合には、国や県、市町村の施設管理担当部署などにお問い合わせください。  
(基本的には、各管理者において対応します。)

## ほう ほう けん とう 消去方法の検討 し ざい じゅん び 資材の準備

消去方法には、塗料で上塗りする方法と落書き消去剤等で消去する方法があります。消去箇所が複数ある場合は、それぞれの箇所ごとに検討します。消去方法が決まったら、必要な資材を準備します。(付録参照)

## やく わり ぶん たん 役割分担

参加者が多い場合等は、あらかじめ役割分担を決めておくとう率的です。

### 役割分担の例

- 活動全体のリーダー役
- 塗料で上塗りして消す係
- 落書き消去剤等で消す係
- ブルーシート等で周りの汚れを防ぐ係 など

## かつ どう じっ し 消去活動の実施

消去活動を行います。(付録参照)



## 落書き消しのポイント

### はや早く消そう!

周辺への拡大を防止するためには、速やかに消去することが大切です。見栄えが多少悪くても、できるだけ早く消すことをお勧めします。

### なんども何度でも消そう!

同じ場所に、また落書きされても、消し続けることで、断固とした姿勢を示すことができます。

### できるところから消そう!

はじめは小規模でも、できるところから消す。そうした経験をもとに、より大きな活動に展開していくことができます。

### とにかく消そう!

落書きを塗料で上塗りする場合、上塗りした部分と下地の部分で色の違いができますが、こうした「消した跡」が、住民が落書きを消したことをアピールする“印”となり、抑止効果も期待できます。  
(但し、所有者の方等の了解が必要です。)

### たの楽しく消そう!

楽しく取り組むことが、活動を長続きさせるポイント。大人も子どもも参加して、地域のイベントになれば大成功です。